

一条メガソーラー長野佐久穂海瀬発電所（仮称）事業に係る方法書の主な県関係機関の意見及び事業者の見解

番号	項目名	ページ	意見内容	事業者見解
1	6-5 事業計画	15	<ul style="list-style-type: none"> 敷均す木くずチップについて、現場で発生するチップ量は、どの時点で調査を行い、過不足の判断を行うのか。 現場で発生する木くずチップの量について、計画量を下回った場合に敷均す優先場所は、どのような基準で選定を行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 伐採・抜根により発生するチップ量は、約37,500m³と想定しており、パネル設置部23.62haに約25,000m³敷均す（90mm厚）計画としております。残りの12,500m³については、専門業者により、有効な資源（暖炉の薪やバイオ発電の燃料）として活用する使途で、引き取って頂くよう計画しております。
2	事業計画		<ul style="list-style-type: none"> 排水を既存の農業用水路に流す場合は、事業実施後に想定される排水経路ごとの流入量を準備書において示すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水経路ごとの流入量については、現在詳細な計算は実施しておりませんので、準備書の段階にて提示させていただきます。
3	地形・地質		<ul style="list-style-type: none"> 発電所事業地の計画縦断図及び計画横断図を添付すること。 浅層地滑り、深層地滑りなど地形変更後の地盤の安定性について、地質調査（ボーリング調査）及び安定解析を実施すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電所事業地の計画縦断図及び計画横断図につきましては、平成28年度第9回技術委員会の資料として示しました。また、これらの図面は準備書に掲載する予定です。 地質調査につきましては、調整池や構造物設置個所にて地盤反力の調査、切土箇所においては土質の調査を実施する予定であります。調査結果をもとに、構造物の構造計算、盛土法面については安定解析を行います。
4	その他		<ul style="list-style-type: none"> 林地開発許可申請における事前協議は、評価を反映させた計画（設計）内容で審査するため、大日向第1・第2太陽光発電所の環境影響評価調査の結果を含めた計画（設計）内容で事前協議すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 林地開発許可申請における事前協議は、大日向第1・第2太陽光発電所の環境影響評価調査の結果を含めた計画（設計）内容で事前協議することと致します。